

下水道ストックマネジメント計画のご提案

1. はじめに

設備の適切な改築を行うためには、点検、調査計画及び、改築・修繕計画に基づいた資産管理手法として「ストックマネジメント」の策定が必須となっています。ストックマネジメントは、長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設・設備の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理の最適化を目的としています。

令和3年3月には、国土交通省から「維持管理情報等を起点としたマネジメントサイクル確立に向けたガイドライン-2021年版-」が示され、ICTを活用して施設・設備の設置状況や日常の維持管理情報をデータベースに蓄積し、その情報を下水道ストックマネジメント計画の策定や効率的な修繕・改築に活用することが重要とされています。

2. スtockマネジメント計画の提案

私たちは、下水道施設・設備のライフサイクルの各段階における様々な経験・ノウハウを活かし、効率的かつ効果的な計画の策定をお手伝いします。

① 老朽化した設備の健全度調査

⇒下水道ストックマネジメント計画では、まず現状の健全度を把握することが必要不可欠です。機器の健全度を把握することにより、長寿命化（延命化）可能な時期、更新が必要な時期を把握し、効率的な再構築計画が立案できるよう調査を行います。

② スtockマネジメント計画の立案

⇒国土交通省の「下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン」や「維持管理情報等を起点としたマネジメントサイクル確立に向けたガイドライン」に基づき、健全度判定結果から、長寿命化（延命化）を行うか、改築・更新を行うかのLCC（ライフサイクルコスト）の比較を行い、ストックマネジメント計画の策定、申請に係る資料作成を行います。

③ 健全度判定システムの構築

⇒だれが診断を行っても同じ評価になるような判定項目の構築、そして機器の健全度が即座に評価できるようなシステムの構築を行います。

④ スtockマネジメントシステム導入支援

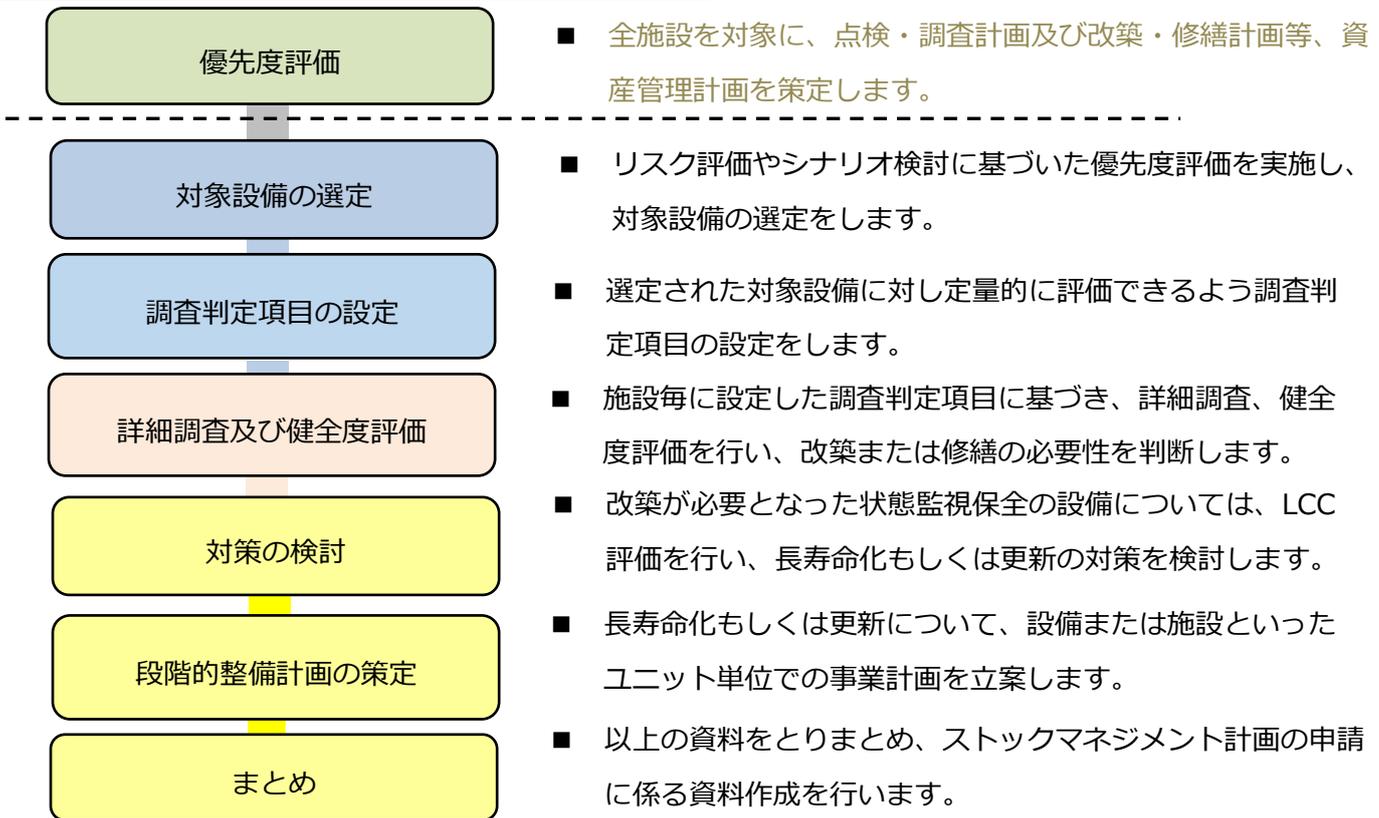
⇒設備情報、詳細調査情報などをストック台帳としてデータベースに蓄積し、それをシステム化することにより、下水道施設の点検調査計画の策定、中・長期計画の策定（改築に必要な事業費の予測と予算平準化の立案）を行い、計画的な維持管理と効率的な事業実施の策定を行います。



⑤ 資産台帳ツールの活用

⇒ストック台帳、自治体が所有している設備台帳、資産位置（図面）の連携機能を持たせた、弊社の資産台帳ツールを活用し、維持管理計画を効率的に行う支援もいたします。

3. スtockマネジメント計画策定フロー



4. おわりに

私たちは、下水道設備の老朽化に対する効率的なストックマネジメント計画の策定を行います。計画では、維持管理情報、修繕情報、故障情報などが必要不可欠です。今後のストックマネジメント計画を容易に見直し策定できるように、当社ではこれらのデータベース構築のお手伝いをしています。

また、これらの情報をもとに機器の健全度が容易に評価できるように、健全度判定システム構築のお手伝いもしております。さらに、下水道施設の点検・調査計画及び改築・修繕計画に基づいた資産管理手法として、アセットマネジメント計画策定のお手伝いも行っております。

主な業務実績

- ◆ 東京都下水道局 芝浦水再生センター再構築施設計画調査委託（令和元年度）
- ◆ 青森県十和田市 十和田市公共下水道ストックマネジメント実施方針策定業務（令和2年度）

お問い合わせ・資料のご請求

株式会社 東京設計事務所 東京支社

・デザイン第3グループ 今井孝成 TEL 03-3580-2732 takanari_imai@tokyoengicon.co.jp